

## IAF 基準文書改訂に伴う審査プログラム見直しについて

平素は格別のお引き立てにあずかり、誠にありがとうございます。

弊社は、認定された機関として国際的な認定基準文書<sup>※1</sup>に基づいて認証活動を実施しております。

その基準文書の改訂に伴い、審査で訪問すべきサイト(事業所、工場、支店などの登録されている活動領域・施設)、審査に要する時間のルールが変更となりました。

弊社では、初回審査/再認証審査からの3年間の有効期限までの認証サイクルで行うべき審査で訪問すべきサイト及び各審査時間(審査工数)を「審査プログラム」として作成し、維持しておりますが、今回、認定基準文書(IAF MD1 等)の変更を受け、「審査プログラム」の見直しが必要となっております。

本改訂に伴いまして、前年同条件の場合でも、訪問サイト数や審査時間に変更(多くの場合増加)が生じま  
すことについて、ご了承のほどお願い申し上げます。

本件について、特に審査工数変更に関連する改訂内容を、下記の通り、ご報告いたします。

また、IAF MD1 改訂による影響については、認定機関である日本適合性認定協会(JAB)からも通知されておりますのでご参照ください。<https://www.jab.or.jp/news/2018/092600.html>

※1 各国認定機関等により構成される国際認定フォーラム IAF(International Accreditation Forum, Inc.)が発行する基準文書

※ 今回の審査プログラム見直しで、大きく影響する認定基準文書は、IAF MD1:2018 となりますが、その参考訳は、次の URL にて認定機関 JAB により公開されています。

<https://www.jab.or.jp/files/items/common/File/IAFMD12018syusei.pdf>

### 記

#### 1) 審査で訪問すべきサイトのルール変更

同様のプロセスのサイトではサンプリングにより確認することができますが、異なるプロセスのサイトに関してはサンプリングが適用できません。以前のルールでは各審査で(サンプリングできないため)すべてのサイトを対象としていましたが、新しい MD1 では、初回/再認証審査ではすべてのサイトを、定期審査では、サイト数の30%を暦年中に網羅しなければならないこととなりました。

#### 2) サイト当たりの審査工数の算出

以前は、全てのサイトの要員が一つのサイトに集まったと仮定した要員数の合計で算出した工数を、各サイトに割り振る形で、各サイトの工数を決定することが可能でしたが、それぞれのサイトの要員数により、サイトごと算出することになった為、トータルの審査工数は増大する傾向にあり、特に全サイトを訪問する再認証審査では、増大することになります。

#### 3) 1 サイト当たりの審査工数の削減は 50%を超えてはならない。

各サイトの活動、プロセスの状況により、審査工数を調整することができます。しかしながら、上記 2) に加え、従来は1サイトでの工数削減の制限がなく70%の削減も可能であったのですが、新しい MD1 では、各サイトの審査工数削減が最大でも 50%に制限された為、各サイトの審査工数が増大し、トータルの審査工数としては、更に大きく増大することになります。

以上

お問合せ先  
ASR カスタマーサポートデスク  
電話: 03-3666-8757  
Mail: denwa-support@armsr.co.jp